

「水俣・芦北地域環境フィールドミュージアムプロジェクト」通信

●木工教室を実施

10月11日、毎月第2土曜日に開催される恒例のつなぎ朝市に合わせて、木工教室（水俣芦北年輪会主催）が開かれ、緑の少年団員や地元の子どもたち約20人が参加しました。今回は木製のベンチづくりに挑戦しましたが、子どもたちは使い慣れないかなづちやのこぎりなどを使いながら、一生懸命に作業に取り組んでいました。なお、この日作った木製ベンチは、町内の公共施設などに設置される予定です。



↑一生懸命に作ったベンチと一緒にみんなで記念撮影

●ガイド講座を実施

10月7日、四季彩と舞鶴城公園を題材として、10月8日、野外彫刻と石橋群を題材としてガイド育成講座が開かれました。これは、修学旅行や一般観光者向けの案内人（ガイド）を育成しようと初めて実施されたもので、当日は町婦人会会員や水俣市環境ガイド、役場職員などが参加して町内各所を回りました。また、10月14日には、当講座のまとめとしてワークショップを行い、観光モデルコースの検討などを行いました。



↑野外彫刻を説明するつなぎ美術館の楠本学芸員

水俣・芦北地域環境フィールドミュージアムプロジェクトとは？

環境学習や自然体験学習をテーマとした交流人口の増加等を目的に、平成19年度から県と地元市町、関係団体がパートナーシップを組んで実施している事業です。具体的には各種体験学習プログラムの作りこみや環境学習旅行の誘致などを実施しています。なお、本町でも古中尾地区の里山体験事業や緑の少年団活動を通じた自然体験プログラムの検討に取り組んでいます。

観光ガイドに興味のある方を募集します！

本町では、町にあるたくさんの魅力的なスポットを案内できる観光ガイドの育成を進めたいと考えています。興味のある方は、役場総務課企画財政班 ☎78-3111（216）までお問い合わせください。

こちらもスポーツの秋到来！福祉スポーツ大会が開催されました

→「バケツボール入れ」には、みなさん苦戦されました。



10月26日（日）、総分ラウンドで第28回福祉スポーツ大会が開かれました。この大会は、老人クラブ連合会、母子会、身体障害者互助会、民生（児童）委員協議会などの参加のもと、毎年開催（社会福祉協議会主催）されているものです。当日は、午後から雨が降り出すあいにくの天候となりましたが、タル転がしや玉入れなど予定されていた全ての競技が行われました。結果は、母子会チームが見事優勝に輝き、真紅の優勝旗を手に入れました。